

---

**株式会社ソケッツ**  
**2012年3月期第1四半期 決算補足資料**

---

2011年7月28日

◆業績は期初計画通り推移

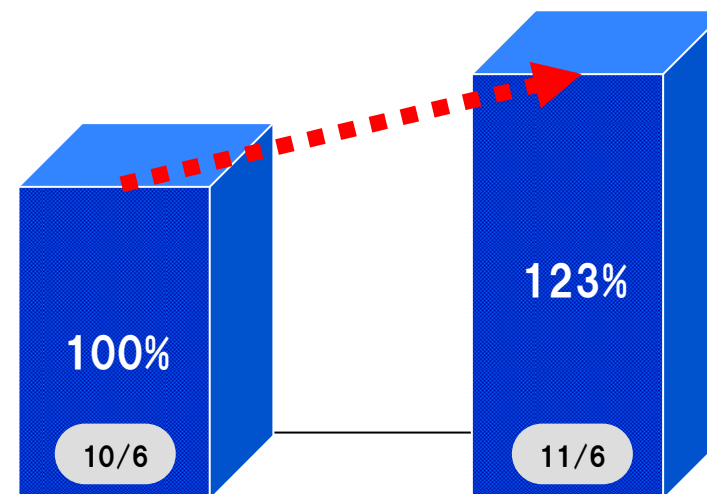
- ◆売上高 509百万円(前年同期比98%)  
 うち
 

{	メディアビジネス 395百万円(前年同期比110%)
	コンテンツビジネス 114百万円(前年同期比71%)
- ◆経常利益 34百万円(前年同期比34%)
- ◆四半期純利益 17百万円(前年同期比32%)

- ◆第2四半期累計計画との進捗率は売上ベースで47%と期初計画通り推移
- ◆足元のメディアビジネスは前年比110%で推移
- ◆ストリーミング・データベース関連先行投資による利益率の低下

当社メディアビジネスのユニークユーザー数の傾向値

メディアビジネスに関連する専門検索サービス、レコメンドサービス及びストリーミングサービス等のユニークユーザー数は前年同期より増加。引き続き増加傾向。



メディアビジネスに関連するユニークユーザー数の推移傾向  
 ※2010年6月を100%とした場合※

## 1Q業績ハイライト



メディアビジネスが増加し、コンテンツビジネスが減少。また、将来の成長戦略としてストリーミングサービスや汎用性の高いデータベースへの投資及びサブスクリプションモデル等、ユーザー数の拡大により直接的に収入が拡大するビジネスモデルを軸とした取り組みを行っております。

(単位:百万円)

	2011年3月期 第1四半期 (4月-6月)	2012年3月期 第1四半期 (4月-6月)	前年同期比
売上高	517	509	98%
売上原価	260	341	131%
売上総利益	257	167	65%
(粗利益率)	(49.7%)	(32.9%)	(66%)
販管費	156	133	84%
営業利益	100	34	34%

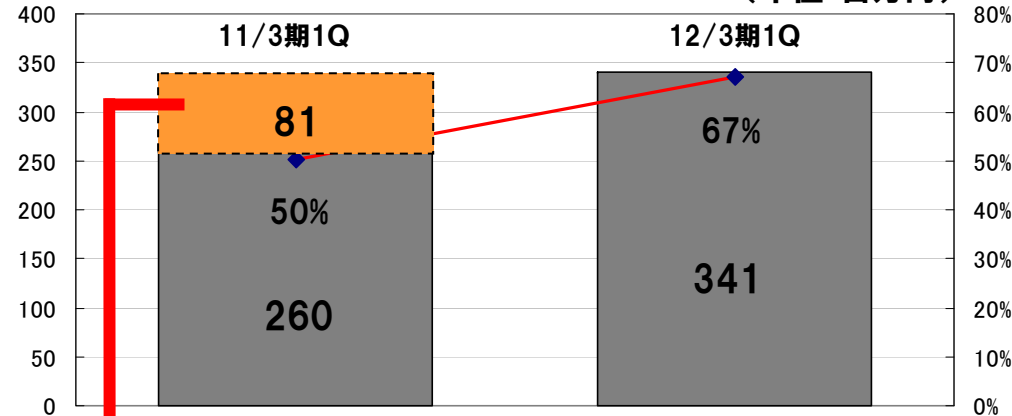
**売上高:** 中心となるメディアビジネスは継続して増加、コンテンツビジネスはスマートフォン向けサービスへの注力による整理等から減少。

**コスト:** 前期後半からスタートしたストリーミングサービスやデータベースの拡充による運用関連や減価償却費等の計上により原価が増加、一方、効率的執行につとめ販管費は減少。

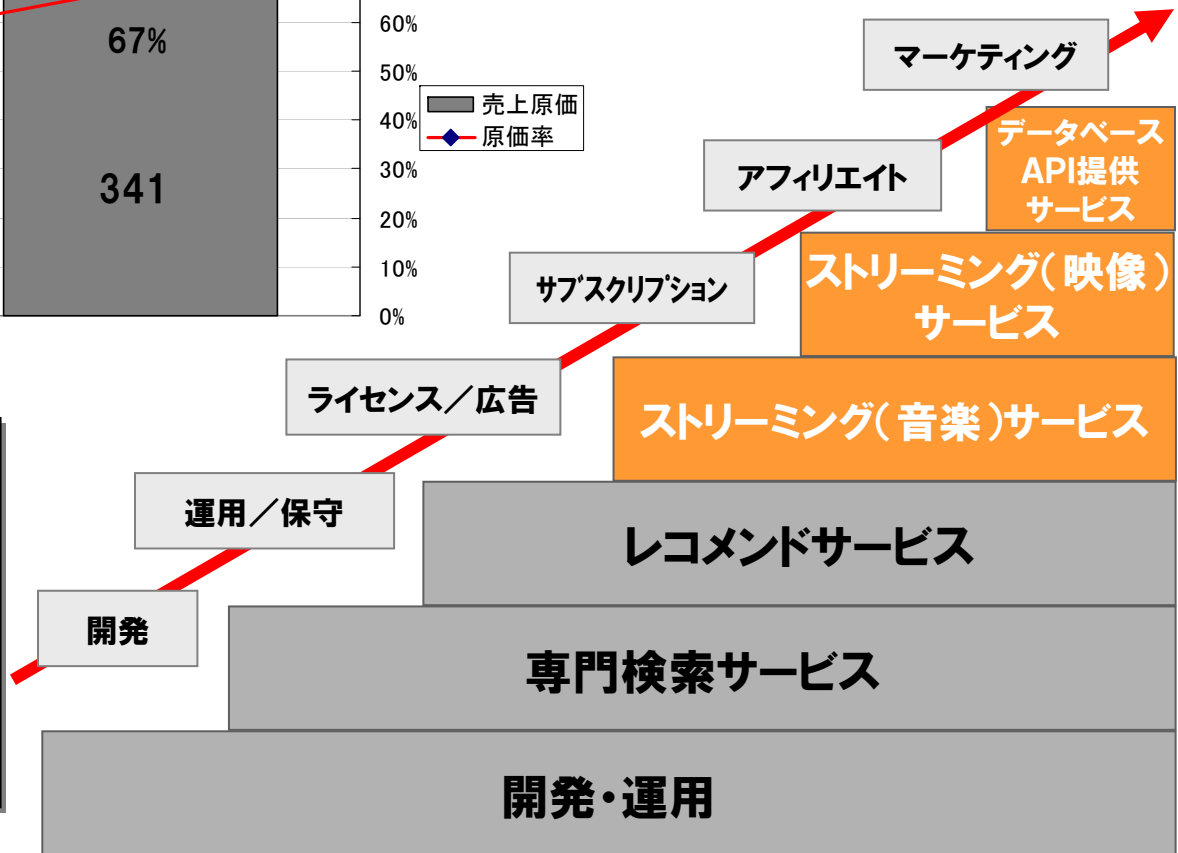
# ストリーミングサービス・MSDB(メディアサービスデータベース)の 先行投資による将来の収入モデル

1Q 売上原価・原価比率

(単位:百万円)

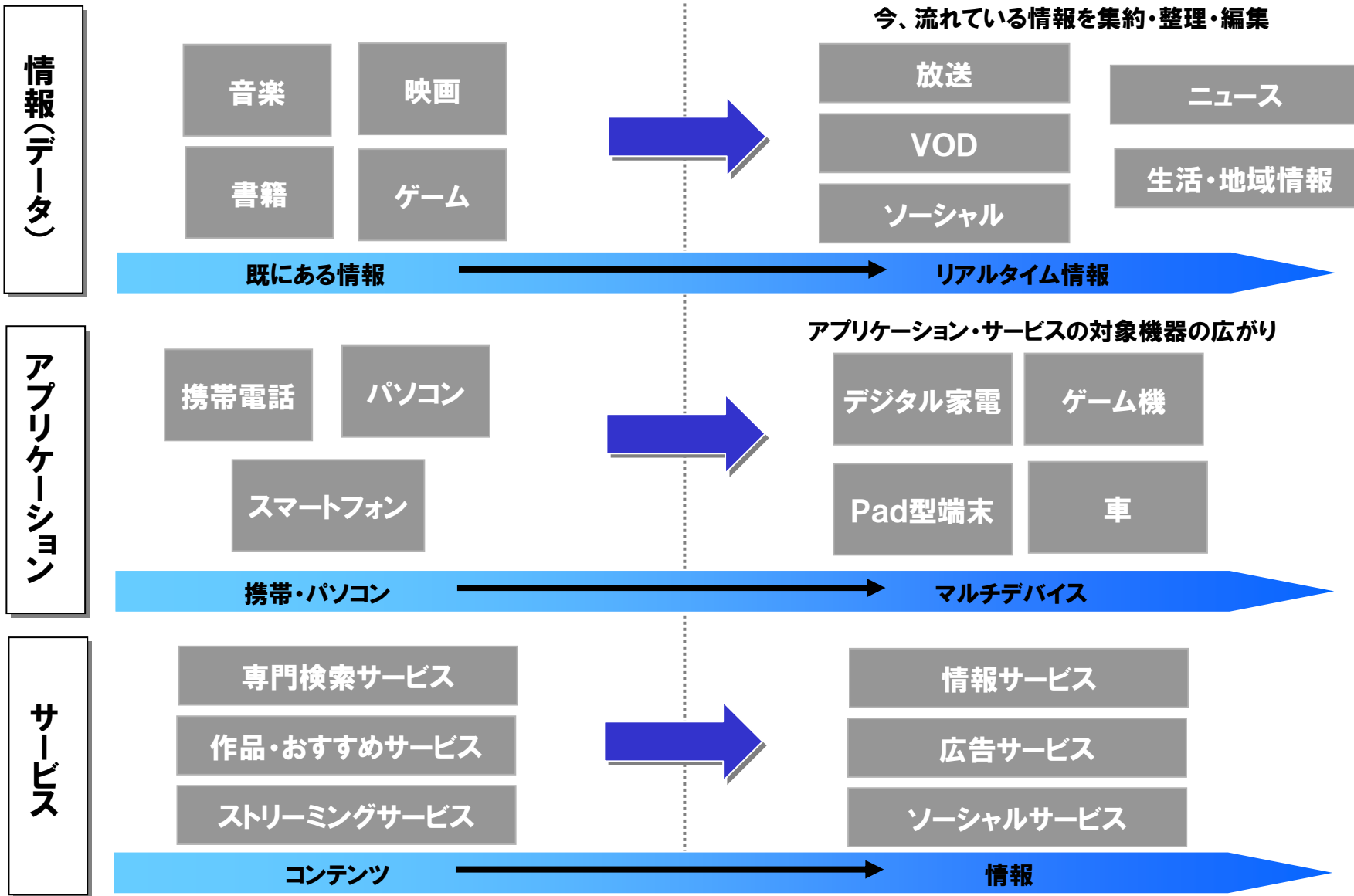


- ストリーミングへの先行投資  
音楽→映像への先行投資
  - ・LISMO Musiclips
  - ・SPACE SHOWER LIVE Channel
- MSDBへの先行投資
  - ・更なる外部連携に向けたAPI提供
  - ・品質精度向上、効率化



2011年3月期

2012年3月期



**Q1: 前年同期より全社売上高が1.6%減少している理由は**

**A1: 売上比率約8割の中心ビジネスであるメディアビジネスは、前年同期比110%と引き続き増加している一方でコンテンツビジネスは、計画通り、スマートフォン注力のためのサービス整理等を行い前年同期比71%となっていることが要因です。いずれにおいても期初計画通りに進捗しております。**

**今期、ビジネスモデルの転換により取り組んでいる中で、中心であるメディアビジネスの増加傾向の一方でコンテンツビジネスの減少傾向というのは通期を通した計画に織り込んでおります。**

**Q2: 利益率が減少している理由は**

**A2: 将来の成長戦略の投資として前期後半からスタートしたストリーミングサービスにかかるシステムの運用及び減価償却費や提供先拡大を見据え着手している汎用性の高いデータベースシステムの一部が完成し、運用及び減価償却費等も増加しております。**

**これらは、中期的に、当社の強みを活かしたサービスによるユーザー数の拡大が、直接的に収益の拡大に貢献するビジネスモデルへとよりシフトする布石となっております。利益率に関しましても、期初計画通りとなっております。**

**Q3: 成長戦略の投資による将来の効果は**

**A3: 本投資は、よりユーザー数の拡大に連動したビジネスモデルを収入モデルの軸とする取り組みを行っております。**

- ①音楽や映像ストリーミングサービスの育成**
- ②専門検索サービスやレコメンドサービスにおける既存サービスの拡充や提携先の拡大**
- ③情報(データ)の幅を広げ、ニュース、生活・地域情報等のサービスの立ち上げ**
- ④ソーシャルサービス連携**
- ⑤モバイル機器以外へのデバイス展開**
- ⑥上記サービスを統合するハブメディア確立**

これらを実現するための仕組み(データベース及びストリーミングシステム)を先行して開発し、そこにサービスを乗せていくことにより、売上及び利益並びに利益率が一段と増加することを目指しております。



**Q4: 第2四半期及び通期計画について**

**A4: 第1四半期では、第2四半期累計期間の進捗率、売上高47%、経常利益49%と計画どおり推移しております。現時点において、第2四半期累計期間及び通期の期初計画から変更はございません。**

**今期においても上期:下期売上比率は35:65という計画になっております。(前期上期:下期売上比率40:60)**

**これは通信会社の例年の春モデルに合せたサービス開発が集中することが要因です。今期においても、下期以降に音楽ストリーミングサービスの拡大、映像ストリーミングサービスの新規開発及びAPI提供先としてサービスの広がり等による売上の増加を見込んでおります。**

**※本資料における予想数値は、発表日現在において当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。**

**お問い合わせ先：**

**株式会社ソケット**

**〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷一丁目1番12号**

**担当：経営企画管理本部**

**Tel:03-5785-5518 Fax:03-5785-5517**

**E-mail:ir@sockets.co.jp**